

体の不自由な人のために自転車作りを続ける堀田健一さん。
逆境や苦難にも負けない姿を描いた渾身のノンフィクション!



風を切って走りたい!

ゆめ
夢をかなえるバリアフリー自転車

高橋うらら・著

対象:小学校高学年から
体裁:四六判 159ページ
定価(本体1,400円+税)
ISBN978-4-323-06096-5 C8095 NDC916



【内容紹介】(約100字)

40年間、体の不自由な人たちのために自転車を2600台以上手作りしてきた堀田健一さん。物作りが大好きだった少年時代から、さまざまな苦難を乗り越えて、人のために尽くしてきた軌跡を描いた感動のノンフィクション。

【ストーリー】

子どものころから物作りが大好きだった堀田健一さん。ある日、息子と手作り自転車で遊んでいると、つえをついた女性から「自分もその自転車に乗ってみていいですか?」と声をかけられました。

ペダルをふみ、ぐんぐんスピードをあげ走り出す自転車。
「まさかわたしが風を切って走れるなんて!」となみだぐむ女性。

このぐうぜんの出来事から、世界に一つの自転車作りが始まりました。

しかし道はきびしく、その日の食事にも困る日々。何度もくじけそうになる中、ある北海道の少年との出会いが自転車作りを続けることを決意させたのです。



★高橋うららさんからのメッセージ★

近ごろは、みんな自分のことばかり考えて、生きづらい世の中になったような気がします。

そんな中、堀田健一さんは、人の役に立つのならと覚悟を決め、体が不自由な人でも楽に乗りこなせる自転車を、家に100円玉もなくなるような貧乏にあえぎながら、たった一人で何十年も作り続けてきました。

このブレない生き方は、読者の子どもたちに、きっと人生の大事なヒントを与えてくれるに違いありません。

堀田健一 (ほったけんいち) プロフィール

1943年、茨城県生まれ。茨城県立土浦工業高等学校卒業後、本田技研工業で新型スポーツカーの開発にたずさわったのち、2年半で退社。1979年春、息子の遊び用に作った自転車が体の不自由な人たちにも役立つことに気づく。同年秋「堀田製作所」を設立し、バリアフリーの自転車製造を開始する。のちにその功績が評価され、2005年シチズン・オブ・ザ・イヤー、2007年吉川英治文化賞、足立区民文化賞を受賞。2008年には堀田製作所の自転車が「足立ブランド」に認定される。2019年現在、これまで40年間で製作した自転車は2600台におよぶ。

著者・高橋うらら (たかはし うらら)

東京都生まれ。日本児童文芸家協会理事。「命の大切さ」をテーマにノンフィクションの児童書を中心に執筆。主な著書に『犬たちがくれた音 聴導犬誕生物語』(金の星社)、『災害にあったペットを救え』(小峰書店)、『聴導犬こんちゃんがくれた勇気 難病のパートナーを支えて』(岩崎書店)、『「お手伝いしましょうか?」うれしかった、そのひとこと』(講談社)などがある。